

ニカラグア定期報告（2015年4月）

2015年5月
在ニカラグア日本大使館

【要旨】

〈内政・外交〉

オルテガ大統領が、米州首脳会議において、米国の政策を批難する演説を行う一方、ニカラグア国軍は、米国より、麻薬・組織犯罪対策のための高速艇の贈与を受けた。また、28日、国会において、GLONASS（ロシア版GPS）をニカラグアに設置し、受信運用に供することを目的としたロシアとの技術協力協定が批准された。その他、14日に開始した国際司法裁判所におけるコスタリカとの国境紛争に係る口頭弁論は、5月1日に終了し、両国は最終判決を待つのみとなった。

〈経済〉

両大洋間運河計画関係者より、4月完成予定であった建設計画の環境F/Sの完成が5月末に延期となる旨発表があった他、中央銀行は2014年のニカラグア経済報告書を発表した。同報告書ではマクロ経済の順調な伸びが強調されているものの、今般行われた世論調査結果によると、国内の主要課題には貧困、雇用、物価上昇等の課題が残されている。一方、同調査結果によると、74%の回答者が今後1年間で経済は改善すると答えており、今後の経済成長に期待がかかる。

【主な出来事】

1 内政・外交

（1）オルテガ大統領の米州首脳会議出席

オルテガ大統領は、10日、11日にパナマにおいて開催された第7回米州首脳会議に出席した。同会議において、オルテガ大統領は、キューバの米州首脳会議への参加に祝意を表した一方、米国の政策を拡張主義、干渉主義であると批難し、今次米州首脳会議においてコンセンサスのとれた宣言に署名できなかったことはオバマ大統領の責任であると主張した。また、オルテガ大統領は、原油価格の下落及び中米カリブ地域における天然ガスの消費増加は、ニカラグアにおける再生可能エネルギー計画を脅かすとして、米国のエネルギーセキュリティ政策に係る同地域における天然ガス供給増加の可能性について、再考するよう要求した。オルテガ大統領は、中米地域は再生可能エネルギーに焦点を合わせるのか、天然ガスや石油からのエネルギー生産に焦点を合わせるのかのジレンマに陥っている旨述べ、天然ガスの供給を増加させる計画への不安を示した。

（2）米国による当地海軍への援助

23日、米国は、ニカラグア海軍に高速艇2隻を贈与した（過去5年間に米国はニカラグアに8隻の高速艇を贈与）。2015年～2017年の3年間で計21隻の高速艇を贈与

する予定である。これらの高速艇は、ニカラグア国軍が麻薬・組織犯罪取締活動において押収したボート（これまでに173隻押収）を米国が改造の上、ニカラグアに贈与している。米国により改造された高速艇には、レーダーやGPSが搭載されている他、通信設備と夜間等の視界が悪い時も運航可能な航行設備が備えられている。

（３） ロシアとの宇宙開発分野における協力協定批准

2012年、宇宙開発分野における協力協定が、ロシアとの間で署名されており、本2015年1月、ロシア側が右協定の批准を行った。これを受け、オルテガ大統領は、国会に対し、早急なる協力協定の批准を要請し、28日、国会は、右協力協定を、賛成65、反対23にて批准した。なお、同協力協定により、GLONASS（ロシア版GPS）の地上ステーションがニカラグアに設置され、自然災害及び気候変動対策に使用される予定である。

（４） 国際司法裁判所におけるコスタリカとの国境紛争に係る口頭弁論

4月14日～5月1日、国際司法裁判所（ICJ）において、「国境地域におけるニカラグアの活動事件」及び「コスタリカにおけるサン・フアン河沿いの道路建設」事件に関する口頭弁論が実施され、各事案における最終申立てが行われた。両国外相は、如何なる判決であれ、ICJの判決を順守する旨述べており、後は、最終判決を待つのみとなった。

2 経済

（１） 両大洋間運河建設に係る環境F/Sの発表時期

HKND社によれば、運河の環境F/S実施企業であるERM社は、環境F/S作成にさらなる時間を要するため、環境F/Sの発表は5月末になる。また、正当性、透明性及び合法性の原則に基づいて、両大洋間運河建設計画の進捗状況の詳細を発表する予定である。HKND社は、両大洋間運河建設計画への投資に関して、運河に関心を示す全ての投資家を歓迎すると述べてはいるものの、500億ドルを出資し得る投資家が存在するか否かについては言及していない。

（２） ニカラグア中央銀行年次報告書2014年版の発行

中銀の年次報告書2014年度版によると、客年の当国経済は、輸出品の価格の回復も含め、世界経済、特に主要貿易相手国の多くがポジティブであったことにより、経済成長、雇用、価格の安定等の点から引き続き上向きとなった。GDPは11,805.6百万米ドル、一人あたりGDPは1,904.70米ドル、経済成長率は、4.7%となり、主要成長セクターであった商業及びサービス業は3ポイントの伸びを見せた。また、正規雇用者は商業、観光業及びサービス業を中心に伸びた結果、前年比5.4%増加し、正規雇用者の平均給与は7.8%増加した。2014年のインフレ率は、石油の国際価格の下落、政府による補助金や基礎食料品価格の安定政策が部分的に補填したものの、雨期の異常気象による客年前半の国内消費基礎穀物の収穫量の減少等が影響し、6.48%となった。公的投資は約545.64百万米ドル、公的負債は5,800.3百万ドル（GDP比は4

9.1%)、外貨準備高は最高2,276.2百万ドルで、マネタリーベースの2.6倍であり、輸入額の4.7か月分となった。貿易収支では、赤字額が前年比0.1%マイナスの2,820.3百万ドルとなり、輸出(FOB)が9.6%、輸入(CIF)が3.9%増加という結果であった。なお、フリーゾーンからの輸出は7.2%増加した。

(3) 2015年3月の世論調査

民間調査会社M&R社が3月下旬に実施した世論調査結果によると、国内の主要課題は雇用、貧困、価格高騰であった。経済状況の改善については、これまでの1年間で改善したと答えた者は過半数を下回ったものの、74%以上の回答者は、今後1年での経済状況が改善すると期待している。また、71.5%は両大洋間運河建設計画については、F/Sの結果で実現性が認められた場合、実現すると答え、ネガティブな回答者は約20%に留まった。

<主要経済指標>

	2015年			2014年	2013年
	4月	3月	2月		
インフレ率(前年同月比)	5.7%	5.9%	5.5%	4.9%	6.3%
貿易収支(百万ドル)	未発表	未発表	△226.3	△2,818.5	△2,792.3
輸出 FOB(百万ドル)	未発表	未発表	216.2	2,634.5	2,400.7
輸入 CIF(百万ドル)	未発表	未発表	442.5	5,452.9	5,193.0
海外送金(百万ドル)	未発表	106.2	94.1	1,135.8	1,077.7
外貨準備高(百万ドル)	2,375.6	2,332.8	2,286.9	2,276.2	1,993.0

(出典：ニカラグア中央銀行)